



「離島の奇跡」のまちづくり 隠岐諸島海士町から大阪へ 島根県海士町の中学生が追大生に魅力をプレゼン

「ないものはない」というコピーを掲げ、独自のまちづくりで移住者を増やし「離島の奇跡」とも呼ばれる島根県隠岐諸島の海士町の中学生が、地域の魅力を知ってもらおうと、**7月27日に追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）を訪れ、地域づくりを学ぶ学生にプレゼンテーションを行います。**

この取り組みは島根県海士町の海士中学校が、探究学習の一環として行っているもので、毎年、修学旅行の機会を利用して都市部の大学生にプレゼンテーションをしています。今回は地域創造学部のある本学に打診があり、**大阪では初めての開催**となります。

海士中学校からは中学2年生15人が来訪し、「小さな島の小さな中学校からの招待状」をテーマに、「観光」、「自然」、「人・特産物」の3つのジャンルに分けて、クイズや試食を取り入れた工夫を凝らしたプレゼンテーションを大学生に行います。

中学生たちは今年4月から今回のプレゼンに向けて調査やネタ集めを進め、事前に地元の人にもチェックをしてもらうなど20時間以上かけて準備を行っており、プレゼンをとても楽しみにしているということです。

【ポイント】

- 島根県隠岐諸島の海士町の中学生が、地域の魅力を追手門学院大学の地域創造学部の学生らにプレゼン
- 探求学習の総仕上げとして、修学旅行を活用して毎年実施。大阪では初めて。
- 共に地域づくりを学ぶ中学生と大学による交流

【概要】

行 事：島根県海士町の中学生が地域の魅力を大学生にプレゼンテーション

日 時：2018年7月27日（金）11時10分～12時50分

会 場：追手門学院大学 食堂棟3階（大阪府茨木市西安威2-1-15）

参加者：海士中学校2年生15人と引率者、追手門学院大学地域創造学部の学生ら

■海士中学校のタイムスケジュール

- ・09:00 追手門学院大学着
- ・09:00～11:00 大学見学およびリハーサル
- ・11:10～12:50 プレゼンテーション、質疑応答/民謡キンニャモニャ披露